

**ニッケイ新聞**  
**JORNAL NIKKEY SHIMBUN**  
 DIRETOR PRESIDENTE  
 RAUL M. TAKAKI  
 JORNALISTA RESPONSÁVEL  
 Aldo Shiguti, MTB 36.982  
 Rua da Glória, 332 - Liberdade  
 CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil  
 Tel (11) 3340-6060 | www.nikkeishimbun.jp

# 大統領派企業家が証言

## 否定論者の姿勢崩さず 虚報拡散者への出資認める



9月30日のCPI (Leopoldo Silva/Agencia Senado)

9月30日の上院のコロナ禍調査委員会(CPI)では、ボルソナロ大統領支持派の企業家オタヴィオ・ファコウリ氏が召喚されて、証言を行った。ファコウリ氏は、連邦政府に対してコロナワクチンの不正売買を行ったとの疑惑を持たれている団体への出資の事実などを認めた。1日付の紙が報じている。

### ワクチン不正交渉団体の副会長

ファコウリ氏は、コロナウイルスに関して、コロシキンなどからなるKiti-Covidを使った早期治療の必要性などの虚報を拡散した「デルサ・リーヴリ」や「クリチカ・ナシオナル」などの虚報サイトへの出資や、コロシキンを推奨する「影の委員会」のメンバーである疑惑、さらには、米国内務省の副委員長として連邦政府へのコロナワクチンの不正販売を行おうとした疑惑などを持たれている。

また、ボルソナロ大統領の入党を希望しているブラジル労働党(PTB)の聖州支部長もつとめていた。ファコウリ氏は、「自分はフェイスニュースなど拡散していない」と主張しながらも、ワクチンによる予防効果を強く批判し、マスク着用は無意味だと主張するなど、ネガティブな言動を行った。これらは一つの意見であり、「表現の自由」は認められるべきだと主張した。その態度は委員たちの反感を買って、副委員長のランドルフ・ロドリゲス上議から、「あなたの意見が他の人々の健康を損なう」として、出資を行っていたことも認められた。

## 2100年のアマゾンは酷暑?

伐採進めば日陰の気温46度

もし、法定アマゾンで森林伐採が止まらず、地球温暖化が進めば2100年までに同地域だけで1200万人が酷暑に見舞われることになる。1日付の紙が報じている。これは、オズワルド・クルス財団(Fiocruz)と国立宇宙研究所(Inpe)、サンパウロ総合大学(USP)の共同研究による。今回の研究は、アマゾン地域の森林伐採が進めば、アマゾンの中間の草原地帯と化したらどうなるかを想定したものだ。それによると、サンパウロ州に進むと、法定アマゾンに住んでいる人たちが酷暑に見舞われることになる。最新の国勢調査ではこの地域には2030万人の人が生活しているという結果が出ている。そのうち60%あまりが、この研究で、アマゾン地域の低草が生えていない部分があり、二酸化炭素の排出量が酸素の排出量を上回っているところもあることを指摘している。

## 失業率が13.7%に低下

まだ1409万人が求職中

地理統計院(IBGE)が、全国家庭サンプル調査(Pnad)を基に、7月の失業率は13.7%で、前期より1%ポイント改善と発表したが9月30日、1日付の紙が報じた。5月の雇用者数は、正社員、非正規を合わせて310万2千人増えた。12カ月の累積では701万4千人で、IBGEのアナリストのアドリアナ・ペリレイラ氏は「雇用者数の増加は顕著」としているが、コロナ禍で失職した人の必要を満たすには十分だ。5月7月の雇用者総数はパンデミック前の2020年初頭の雇用者総数より510万9千人少ない。7月までの3カ月の失業率は前期比で67万6千人(4.6%)減ったが、現在も求職中の人は1408万5千人いる。アドリアナ氏は、短期的には予防接種の進展で経済活動が回復し、雇用が回復するとの見方を示している。失業者は求職活動を行っていないが職に就けない人をさし、職探しを諦めた人はこの数に入らない。また、調査期間中に求職し始める人が加わったり、職探しを止めたたりする人が出る可能性がある。雇用者数の増加はイコール失業者数の減少ともいえない。アルベルト・ラモス氏は、「労働市場から取り残されていると見られる人は540万人おり、そのうち40万人は失業率が高率が続く」との見解を表明している。

## 2日に反大統領デモ 党派を超えた大規模開催

今日2日に、ボルソナロ大統領への抗議デモが行われる。今回は少なくとも全国81カ所で開催され、労働者党(PT)をはじめと21の政党が参加の意向を表明している。これまでに1日付の紙が報じた。19日付の紙が報じている。9月12日に行われた、ブラジル自由運動(MBL)を中心とした保守派による反大統領デモは求心力を欠き、不発に終わったが、今回のデモは(PT)と社会主義自由党(PSOL)と、ボルソナロの中心となつていく。今回のデモの中心となつていく。今回のデモの中心となつていく。

# 9月の死者は今年最少に

新型コロナの最初の死者が確認されたから1年半余りの9月30日、伯国の死者は59万6749人、9月の死者は今年最少となった。

9月の死者は1万6336人で、2万4043人だった8月より32.1%減少。全国の死者は今年4月に8万2266人を記録した後、5万9010人、5万5275人、3万8304人と減少し続けており、9月の死者はピーク時の5分の1まで減った。

この数字は昨年から見ても、3月の2011人の1万3236人、10月の1万5932人、11月の1万9810人、12月の1万6134人、1月6万6134人、2月5万4547人、3月3万9096人、4月4万860人、5月3万9093人、6月3万3093人、7月3万4604人、8月3万1122人、9月2万7988人と続く。9月間上位は聖州100万人あたりの死亡



空の病床が見られるようになったコロナ専用病棟 (Mauricio Bazilio/Govern do Rio de Janeiro)

8月超えはリオ1州のみ

8月の死者は28407人、3892人の麻州、3831人のリオなど、12州が3千人を超えている。マニョセルジッペ649人、リオトサントの3連邦自治体は8月より増えた。



法定アマゾンの森林伐採のイメージ (Twitter)

アマゾン地域の森林伐採が進むと、法定アマゾンに住んでいる人たちが酷暑に見舞われることになる。最新の国勢調査ではこの地域には2030万人の人が生活しているという結果が出ている。そのうち60%あまりが、この研究で、アマゾン地域の低草が生えていない部分があり、二酸化炭素の排出量が酸素の排出量を上回っているところもあることを指摘している。

週末のサッカーの全国選手権。注目は今19時からブラジル国内対コリンチアンズ。共々、順位を下げなければ、リベルタドーレス杯に行けるが、同リーグを除く。リベルタドーレス杯を除く。リベルタドーレス杯を除く。リベルタドーレス杯を除く。

サンパウロ日伯援護協会「本部事務局」  
 TEL: (11) 3274-6483  
 朝8時から午後5時まで。日本語対応可。相談内容に応じて、福祉士などに回す。

緊急時の連絡先

●サンパウロ日伯援護協会「本部事務局」  
 TEL: (11) 3274-6483  
 朝8時から午後5時まで。日本語対応可。相談内容に応じて、福祉士などに回す。

●サンタクルス病院  
 「新型コロナウイルス感染症の緊急外来受診のためのコールセンター」  
 TEL: (11) 97572-4602 日本語対応、24時間。

●万が一、医療機関等に隔離され、日本政府の援護が必要な場合の在外公館の連絡先リスト

- ⇒在ブラジル大使館 (連邦区、ゴイアス州、トカンチンス州)  
 代表電話 (61) 3442-4200 / 夜間連絡先: ブラジル国内から (地域番号なし) 4003-2142  
 サイト: https://www.br.emb-japan.go.jp/itprtop\_ja/index.html
- ⇒在サンパウロ総領事館 (サンパウロ州、マト・グロッソ州、マト・グロッソ・ド・スール州、三角ミナス地域)  
 代表電話 (11) 3254-0100 サイト: https://www.sp.br.emb-japan.go.jp/itprtop\_ja/index.html
- ⇒在クリチバ総領事館 (パラナ州、サンタ・カタリーナ州)  
 代表電話 (41) 3322-4919 サイト: https://www.curitiba.br.emb-japan.go.jp/itprtop\_ja/index.html
- ⇒在ベレン領事事務所 (パラ州、マランヨ州、アマパ州、ピアウイ州)  
 代表電話 (91) 3249-3344 サイト: https://www.belem.br.emb-japan.go.jp/itprtop\_ja/index.html
- ⇒在リオデジャネイロ総領事館 (リオデジャネイロ州、エスピリト・サント州、ミナス・ジェライス州)  
 代表電話: (41) 3322-4919 / 受付時間外及び休館日: ブラジル国内から (0) 21-3461-9595  
 サイト: https://www.rio.br.emb-japan.go.jp/itprtop\_ja/index.html
- ⇒在ポルトアレグレ領事事務所 (リオ・グランデ・ド・スール州)  
 代表電話: (51) 3334-1299 サイト: https://www.curitiba.br.emb-japan.go.jp/itpr\_ja/00\_000040.html
- ⇒在マナウス総領事館 (アマゾナス州、 Rondônia州、ロライマ州、アクレ州)  
 代表電話: (92) 3232-2000 サイト: https://www.manaus.br.emb-japan.go.jp/itprtop\_ja/index.html
- ⇒在レシフェ総領事館 (セアラ州、リオ・グランデ・ド・ノルテ州、セルジッペ州、ペルナンブコ州、アラゴアス州、パイア州、パライバ州)  
 代表電話: (81) 3049-8300 サイト: https://www.recife.br.emb-japan.go.jp/itprtop\_ja/index.html

# 国士館で第1回春まつり

## 2日間で2千人が足運ぶ 太鼓や料理、文化体験も



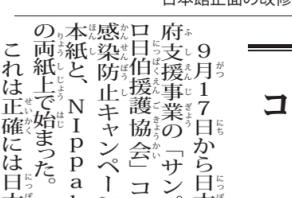
春祭り開催を祝して乾杯

ブラジル日本文化福祉協会(文協)石川レナト会長は9月25・26日、サンロッケ国士館大ホールで第1回「春祭り」を開催した。「午後の部」と「夜の部」に分かれ、2日間で約2千人が足を運んだ。

25日正午からは開会式典が原沢パビリオンで開催された。朝方一時降ったが11時頃には晴れ間が広がり、「春祭り」の名に相応しい春らしい陽気を迎えた。

小室千帆首席領事も出席し、対面会えた喜びを表すと共に「青年部の活力に溢れた活動に感謝を受けた」との声を寄せた。

式典後、グト市長と小室首席領事は体育館のあり方に移動し、石川会長と共に桜の植樹を行った。



日本館正面の改修工事の様子

## 日本館が2日から再開館 盆栽100鉢を特別展示

聖市イビラプエラ公園の日本館(栗田クラウジ才造委員長)が10月2日から再開館する。ブラジル日本文化福祉協会が運営する施設で、新型コロナウイルスの自粛要請や修繕工事の関係で約1年半にわたって閉鎖されていた。

再開館を記念し、料館が昨年行った「アミゴキャンペン」で集められた基金で行われ、椅子や足の悪い人、高齢者も訪問できるようにバリアフリー化された。

この再開を記念した「アミゴキャンペン」で集められた基金で行われ、椅子や足の悪い人、高齢者も訪問できるようにバリアフリー化された。

再開館を記念し、料館が昨年行った「アミゴキャンペン」で集められた基金で行われ、椅子や足の悪い人、高齢者も訪問できるようにバリアフリー化された。

再開館を記念し、料館が昨年行った「アミゴキャンペン」で集められた基金で行われ、椅子や足の悪い人、高齢者も訪問できるようにバリアフリー化された。

## アジア系コミュニティの今(5)

### ブラジル社会への貢献忘れず

台湾編 <8>

ブラジルに慣れるまで最初の1年は辛抱  
「パラグアイの生活は儲かりました。多忙な毎日自分の生活もなく疲れていました。それに比べて、親戚もいるサンパウロでの生活は快適でした」

5年間のパラグアイ生活を終り、サンパウロで暮らし始めたカタリーナさん。パラグアイの生活は儲かりました。多忙な毎日自分の生活もなく疲れていました。それに比べて、親戚もいるサンパウロでの生活は快適でした。

「私たちはフレイション料理と言えば甘いのが普通。サンパウロ生活に慣れ、書くのが好きだったカタリーナさんは、40歳の時に『美洲時報』に入社した。当時は月給US\$150と安く、4年後にはフリーに転身し、新聞社の営業も始めた。



『美洲時報』の斯碧瑤さん(通称カタリーナさん)

2007年の『美洲時報』時代から今日まで、会社をあげて中国(台湾)コミュニティ全体で行っているブラジルへの社会貢献事業が、年に一度のGRA AAC(青少年のがん患者を支援する機関)への寄付だ。

「ポジティブな話題を紹介するのが『美洲時報』のポリシーです。社会貢献を第一に考え、良いニュースを伝えるのが社会への責任です」

2017年にリニョール発刊した『美洲時報』の記者はカタリーナさん。人でアシスタントがいるのみ、パンデミック

「よし！見てろよ。何こえる。海岸の白波が目入った。救われたのだ。生きて帰れたのだ。今思うに、ただの2、3メートル沖まで出ただけだと思いが、自分の周囲が太平洋の静かな大きな波に囲まれ世界が遮られた事でパニックにな

「50年ぶりの祖国で」  
浦島太郎 聖市 広橋勝造 (11)

「よし！見てろよ。何こえる。海岸の白波が目入った。救われたのだ。生きて帰れたのだ。今思うに、ただの2、3メートル沖まで出ただけだと思いが、自分の周囲が太平洋の静かな大きな波に囲まれ世界が遮られた事でパニックにな

「よし！見てろよ。何こえる。海岸の白波が目入った。救われたのだ。生きて帰れたのだ。今思うに、ただの2、3メートル沖まで出ただけだと思いが、自分の周囲が太平洋の静かな大きな波に囲まれ世界が遮られた事でパニックにな

こくさいは にほんじん ようせい  
**国際派日本人養成講座**  
 伊勢雅臣

# シルクロードに降り注ぐ「死の灰」

## 1. 「シルクロードの死神」

ある日本人青年がシルクロードを一人で旅をしてきた時のこと、こんな体験をした。

ローカルバスに乗って南疆をめぐっていたところ、突然曇り空にヒカッと光るものを感じた。その後、バスの中を見渡すと同乗者たちが皆、鼻血を流している。その光景は滑稽にさえ思えた。ところが、鼻に手を当てると自分も同じように血が出てくるのに気がついた。バスの中は騒然となった。あの時、私は被爆したのかも知れない。

## 3. 「豚は彼らの先祖だから喰わないんだ」

アニワルは1963年シルクロードの東端コムルに生まれ、鉄道局の学校に勤務する父の転居で新疆の中部に位置するウルムチに引越した。そこで育った。当時、鉄道局に雇われているウイグル人はほとんどおらず、同局の運営する幼稚園や小中学校で、アニワルは漢人に囲まれて育った。当時は、子供どうしで一緒に遊んでいた。

だが、子供心に傷ついたのは、漢人の大人から蔑まれることだった。小学校2年の時、同級生に家に遊びに行ったら、食卓にはお馳走が並んでいて、一緒に食べようと誘われたとき、豚肉以外のものなら食べないの？と聞いた。

「イスラム教の教えでね」と答えようとするアニワルを遮って、その同級生の父が言った。「豚は彼らの先祖だから喰わないんだ。漢人は自らの先祖を龍だとする。動物を先祖と考えるのは、漢人の独特の民族伝統だろうが、その思考を他民族にも適用してウイグル人の先祖を豚とする。いかにも漢人らしい差別である。」

アニワルは心底傷ついたが、それをバネに「漢人に負けるものか。僕は劣等民族じゃない」と、猛烈に強くなるようになった。

## 2. ウイグル人医師の苦難

このドキュメンタリー番組の制作に協力したウイグル人医師アニワル・トフティのこれまでの人生が、中国に植民地支配されているウイグル人たちの苦難をよく物語っている。

アニワルは難度の高い手術を行い、国際学会にも幾たびか出席するよう優れた外科医だった。しかし中国内の民族差別に耐えかねて、同じテュルク系

## 4. 1949年、中国共産党の軍隊が占領

ウイグル民族が漢人の支配に屈したのは、わずか60年前、第二次大戦後のことだった。現在、独立運動の指導者であるラビヤ・カデル女史は、当時のことをこう回想している。

当時、アルタイ(JOG注:新疆北部、モンゴル国境近くの町)ではロシア人は多かったのですが、漢族を見かけることは極々稀で、たまたま漢族がいたら「ヒタイ(中国人)だ」と噂になったもので、山岳地方に住むカザフ族と、麓に住むウイグル族との関係は良好で、互いに密な往来をしていました。アルタイのウイグルの家々は豊かで、私の家など他家に比べたら、豊かとは言えない部類でした。庭には犬を飼い、美しい木々や香りのよい花々が何種類も植えられ、裏の山からは鳥が飛んできて囀っていました。しかし、そんなアルタイの風景が一変したのは、この地が中華人民共和国の統治下に入ったときからです。

1949年、中国共産党の軍隊が「東トルキスタ」を占領し、ウイグル族、カザフ族を問わず、お金持ちの家の人々を逮捕しました。逮捕者は着の身のまま大きなトラックに乗せられ、タリムの砂漠にある労働改造農場や、監獄へ送られていきました。

## 6. あなたがた漢人は「偉大なる」民族だ

ある時、ウルムチでバス爆破事故が発生し、多数の死傷者が出た。東トルキスタンの独立を目指す組織が犯行声明を出した。百人を超える医師と看護婦が現場で負傷者の手当に当たった。アニワルもその一人だった。

その時、ある漢人の医師が腹立たしげに叫んだ。「はやくウイグル人は我々と同化するべきだ。そうすればこのような事件は起こらない!」すべての人の視線がその場にいた二人のウイグル人、アニワルに注がれた。アニワルは言い返した。

「確かに、あなたがた漢人は「偉大なる」民族だ。『日本鬼子』(漢族の日本人への蔑称)が中国を侵略したとき、あなた達は8年の抗戦を経て勝利した。我々ウイグル人もいつの日か、それに倣うだろう。」

## 7. 核実験被害の潜入取材

そこに、ウイグル人の知人が「英国のテレビ局の記者がウイグル人医師を捜している」という話をもち込んできた。英人記者に会うと、「新疆に観光客を装って潜入取材し、核実験被害の実態をレポートしたい。ガイド兼通訳と偽って、あなたも一緒に潜ってくれないか」と懇願された。

アニワルは「協力しましょう」と答えたが、もし潜入取材に見つかったら、と思うと、「逮捕」「投獄」「拷問」「禁固20年」などの言葉が頭の中をよぎり、体にガタガタと震えが来た。

98年7月に、アニワルを含む6人の取材チームは新疆に入った。チームの中でアニワルはツリス・トガイドを装っていた。車を借りて交替で運転し、可能な限り裏道を走って、核実験基地のある「ロプノール」近辺の村々を回った。

## 9. 「広島を経験を新疆で活かすことができれば」

今はイギリスで同様に政治亡命してきた大勢のウイグル人とともに狭い家で暮らすアニワルは、新疆での核実験被害について「医師としてやりきれない」と頭を抱えながら、こう語った。

中国では被爆者が団体をすることも抗議デモをすることも許されない。国家から治療費も出ない。中国共産党は「核実験はない」と公言し、被害状況を隠蔽している。海外の医療支援団体は調査にも入れない。医師は病状から「放射能の影響」としか考えられなくとも、カルテには原爆症とは記載できない。学者は大気や水質の汚染調査を行うことを認めて貰えないから、何が起きているのかを告発することもできない。このように新疆では、原爆症患者が30年間放置されたままなのだ。

さらにアニワルは、日本人に向けて、こう語った。

「被爆国日本の皆さんに、特に、この悲惨な新疆の現実を知って欲しい。核実験のたび、日本政府は公式に非難声明を出してくれた。それは新疆の民にとって、本当に頼もしかった。日本から智慧を頂き、広島を経験を新疆で活かすことができればと思っています。私は考えているけれども、共産党政権という厚い壁がある。」(P141)

## 5. 職場での民族差別の壁

1991年にアニワルは鉄道局付属病院の医師となったが、そこでも民族差別の壁に何度も突き当たった。

その場の空気が一瞬にして凍りついた。96年にアニワルは主任医師(管理職)になるための試験を受けた。理論、技術などすべての科目は合格したが、外国語だけは合格点に達しなかった。

## 8. 「お母さん、もう死にたい」

農民たちは「基地では、漢人の住む方向に向かって、つまり西から東に風が吹く時は核実験をしない。基地の西方面では、直接、放射能物質が降り注ぐ。ある村では、生まれてくる赤ちゃんの8割が口唇口蓋裂(上唇や上顎が割れている症状)だった。別の村では、内臓異常のため腹や喉など身体の一部分が大化して痛を持った者がたくさんいた。また先天性異常で大脳発達のため、歩けず話せない障害児ばかり生まれてくる村もあった。

それでも村人たちは、貧困のために転居もできず、汚染された水を飲み、「死の灰」の降った土壌を耕して生きていかねばならない。

ドキュメンタリー「シルクロードの死神」には、奇病に冒された17歳のウイグル人少女が登場する。生まれた時には問題がなかったが、成長するにつれて骨が自然に折れて変形する間接異常を患っている。腫の骨が飛び出て、その痛みに泣き続ける。痛い。私の足を切ってください。お母さん、もう死にたい。」

## 「平和賞予想に言論擁護組織 気候条約も、国際研究所」

【ロンドン共同】ノーベル平和賞の受賞者予想で知られるノルウェーの国際平和研究所のウイグル所長は29日、来月8日に発表される今年の受賞者の予想を公表し、言明の自由の擁護を目指す国際ジャーナリスト組織「国境なき記者団」(RSF)を筆頭候補に挙げた。地球温暖化の防止を目的とする国連気候変動枠組条約と条約事務局のエスピノサ事務局長も有力だった。

国境なき記者団については、偽情報社会に蔓延する中、民主主義が機能するには事実に基づく正確な報道が不可欠だと説明。2月に公表した予想を更新し、順位を引き上げた。

一方、近年の気候変動が人々の生活への深刻な脅威となりつつある中、気候変動枠組条約を候補に追加。ロイター通信は、スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさんも受賞の可能性があると専門家の見方を伝えた。

ウイグル氏は他に、ベラルーシ反政権派のチハノ

チベット国民に、突如、中共軍が侵略を始めた  
 C. JOG (124) チベット・ホロコースト  
 50年(下) ダライラマ法王の祈り アデは27年間、収容所に入れられ、故郷の文化も自然も奪われた  
 【参考文献】  
 1. 水谷尚子「中国を追われたウイグル人―亡命者が語る政治弾圧」★  
 ★ 文春新書、H19

国際派日本人養成講座  
 発行人=伊勢雅臣 (文責)  
 Mail: ise.masaomi@gmail.com  
 Twitter: https://twitter.com/ise\_masaomi  
 無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/

平和賞予想に言論擁護組織  
 気候条約も、国際研究所

【ロンドン共同】ノーベル平和賞の受賞者予想で知られるノルウェーの国際平和研究所のウイグル所長は29日、来月8日に発表される今年の受賞者の予想を公表し、言明の自由の擁護を目指す国際ジャーナリスト組織「国境なき記者団」(RSF)を筆頭候補に挙げた。地球温暖化の防止を目的とする国連気候変動枠組条約と条約事務局のエスピノサ事務局長も有力だった。

国境なき記者団については、偽情報社会に蔓延する中、民主主義が機能するには事実に基づく正確な報道が不可欠だと説明。2月に公表した予想を更新し、順位を引き上げた。

一方、近年の気候変動が人々の生活への深刻な脅威となりつつある中、気候変動枠組条約を候補に追加。ロイター通信は、スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさんも受賞の可能性があると専門家の見方を伝えた。

ウイグル氏は他に、ベラルーシ反政権派のチハノ

北京五輪は国内観客のみ未接種者は21日間隔離

【ジュネーブ共同】国際オリンピック委員会(IOC)は29日、来年2月の北京冬季五輪で適用する新型コロナウイルス感染症予防策の基本方針を発表し、観客は中国本土在住者のみ容認することが決まった。海外からの観客受け入れは断念したが、大半の会場が無観客だった今夏の東京大会からは前進した。

印刷版限定  
 セルをもう!!  
 WhatsApp





